

特別支援教育の充実

目次

1

特別支援教育の現状

2

めざす姿・方向性

3

令和 7 年度の実績

4

市立特別支援学校の児童生徒数

5

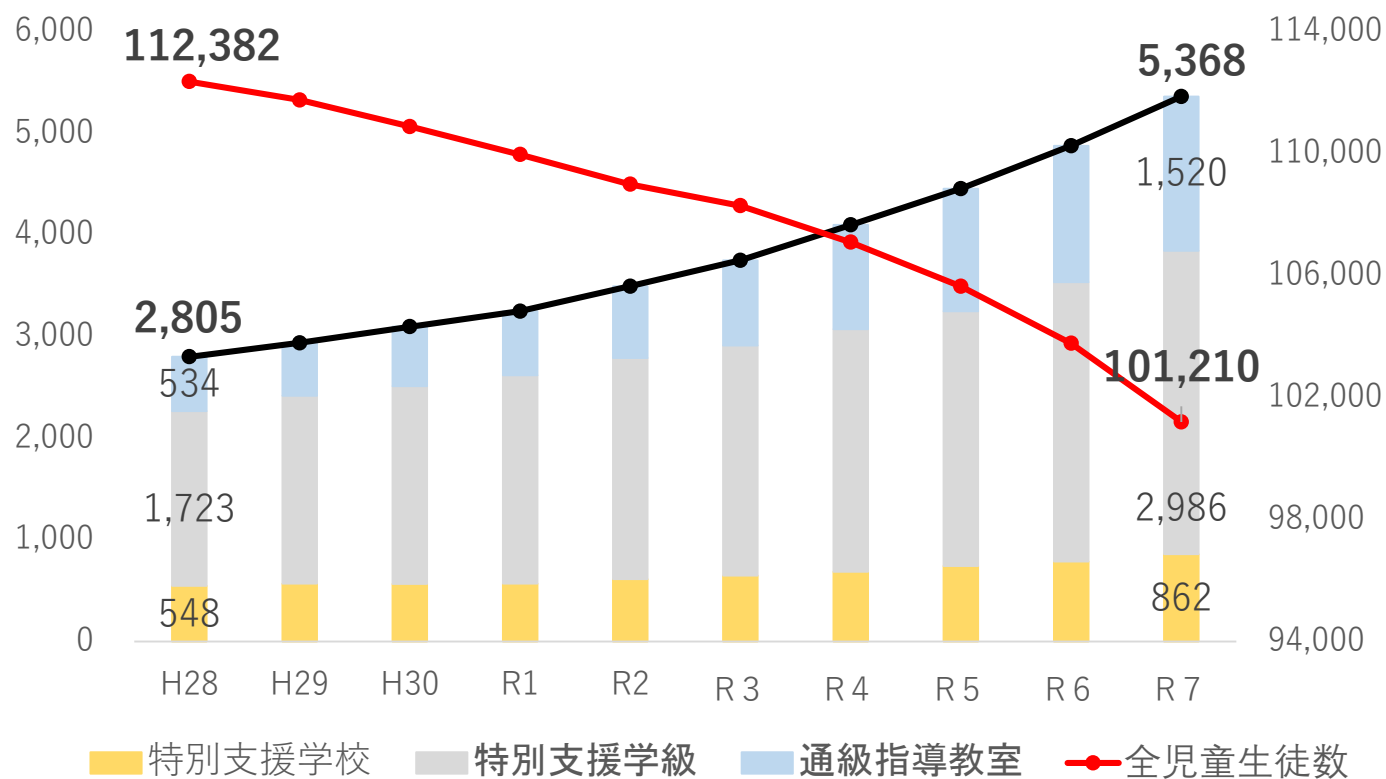
令和 8 年度の主な取り組み

6

人材育成

1 特別支援教育の現状

義務教育段階において特別支援教育を受ける児童生徒



全児童生徒数

1 割減少

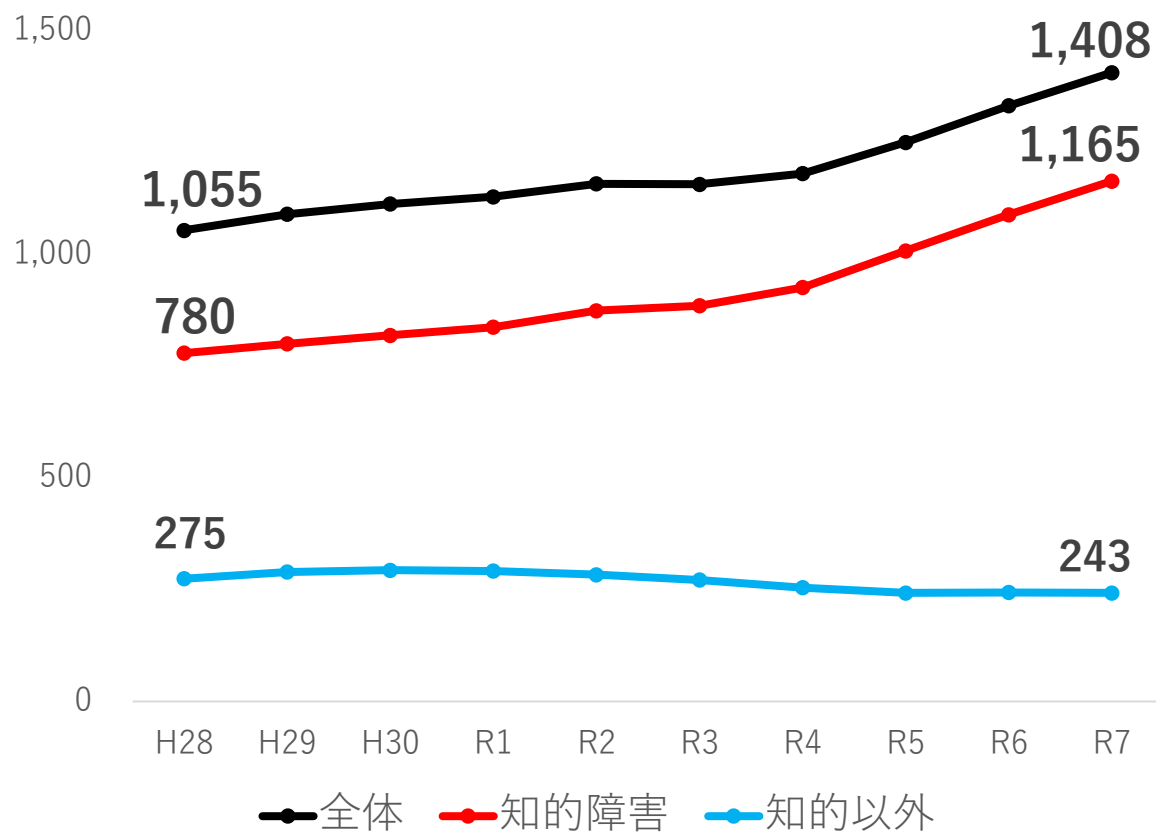
特別支援教育を受ける児童生徒数

倍增

1

特別支援教育の現状

市立特別支援学校の児童生徒数



特別支援学校に在籍
する児童生徒の増加

約1.3倍

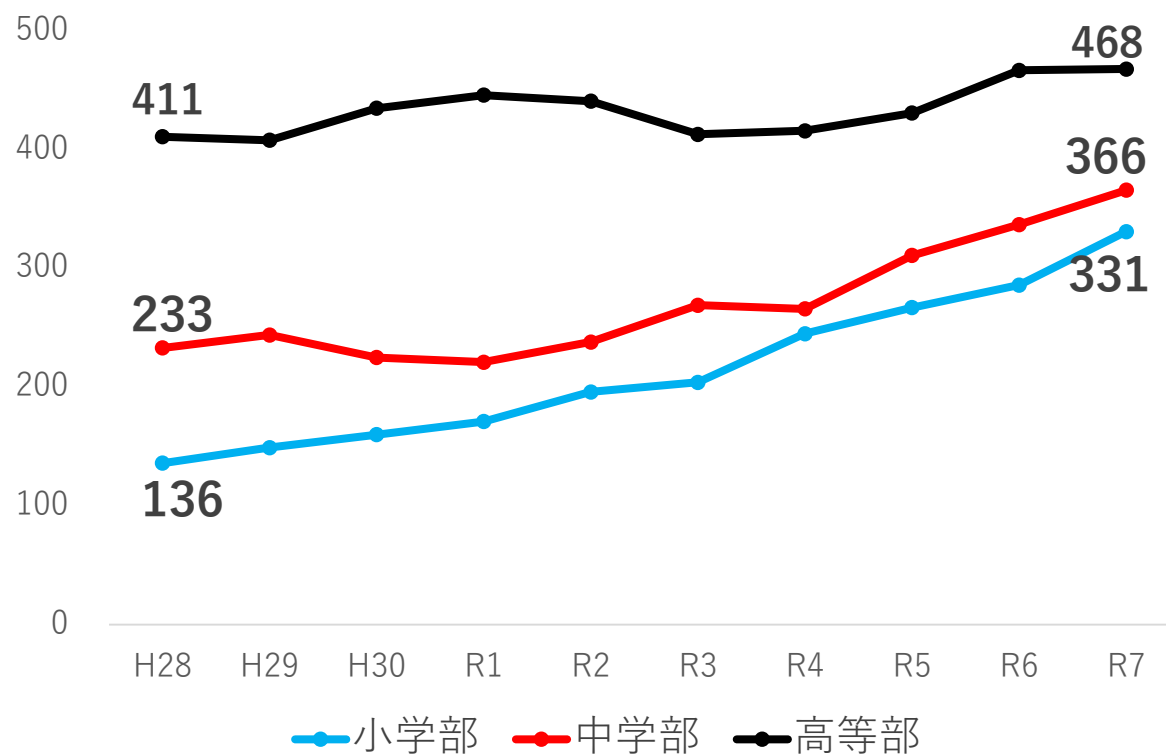
知的障害の児童生徒
が著しく増加

約1.5倍

1

特別支援教育の現状

知的障害部門の児童生徒数



小学部・中学部の児童
生徒が著しく増加
小 2.4倍、中 1.6倍

特別支援学校の過密化

めざす姿・方向性

○インクルーシブ教育の推進

○増加する特別な支援を必要とする児童生徒への
きめ細やかな支援

(参考) 第4期 神戸市教育振興基本計画 ※抜粋

基本政策2 / 一人ひとりに応じたきめ細やかな支援

<重点施策>

- ・障害に応じた特別支援教育の充実

重点取組

- 保護者の適切な就学先選択に向けた支援
- 地域校における特別支援教育の充実



主な事業

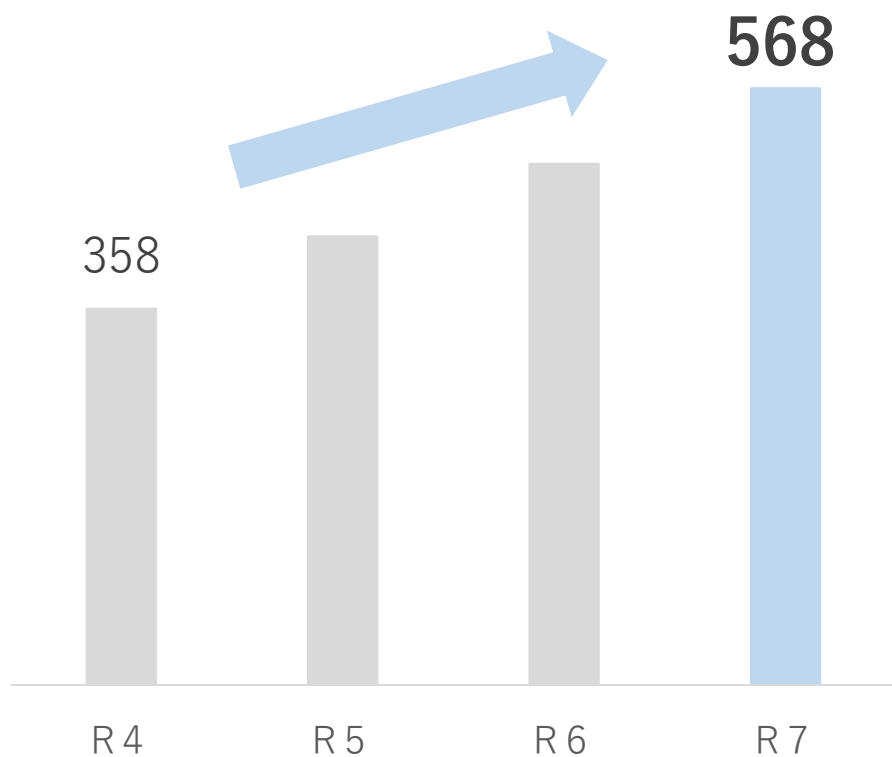
- 就学相談の充実
- 学校支援チームの立ち上げ
- 自校通級指導教室の設置・拡充
- 担当主事による学校訪問

3

令和7年度の実績

(1) 就学相談の充実

就学相談（5歳児）の件数



就学相談の体制強化

既存の体制（8～9名）

- ・指導主事
- ・幼児通級担当教員
- ・特別支援学校コーディネーターなど

+

2名増員（指導主事・教員OB）

3

令和7年度の実績

(2) 学校支援チームの立ち上げ

○地域校への訪問 **50校・82回**

○拠点校通級担当者向け研修 **38回**

役割

- ・学級集団の様子を参観
- ・児童生徒の理解や学級運営の工夫等について教員に助言

効果

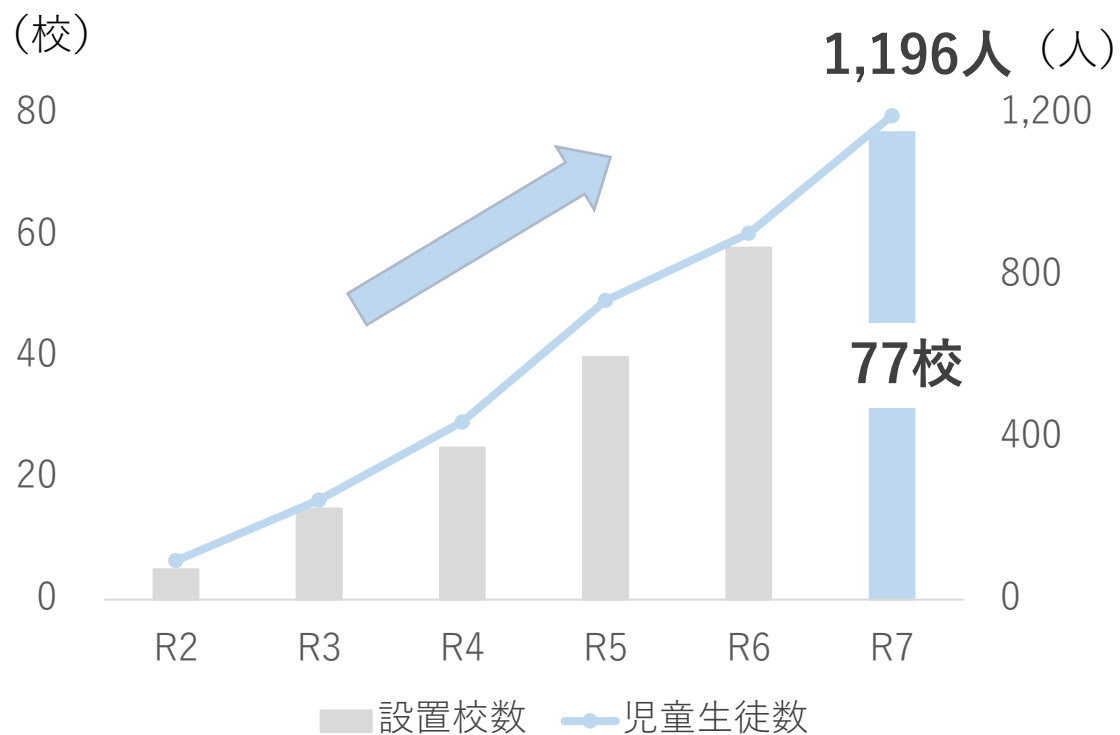
- ・児童生徒や学級の困りが大きくならないよう未然防止
- ・特別支援教育の理解推進

3

令和7年度の実績

(3) 自校通級指導教室の設置・拡充

自校通級指導教室設置校数・児童生徒数



※児童生徒数：各年度10月1日時点

19校新設 ▶ 計77校
ICT教育ソフトの試験導入



3

令和7年度の実績

(4) 特別支援教育課による学校訪問

○担当主事が小・中学校を訪問

▶ **10月末までに全校訪問**

○校内における特別支援教育の状況を把握し、
特別支援学級の学級運営等について必要な
助言等を行う。



3

令和7年度の実績

(5) 視覚・聴覚に障害のある児童生徒への支援

- 視覚・聴覚に障害のある児童生徒が在籍する学校へ
教員向け巡回フォロー▶ **35校訪問**（小28校・中7校）
- 盲学校と地域校における交流及び共同学習



3

令和7年度の実績

(6) 医療的ケア支援

○地域校における看護師派遣時間の上限撤廃

R7年度：派遣時間15時間超えの児童 3名



3

令和7年度の実績

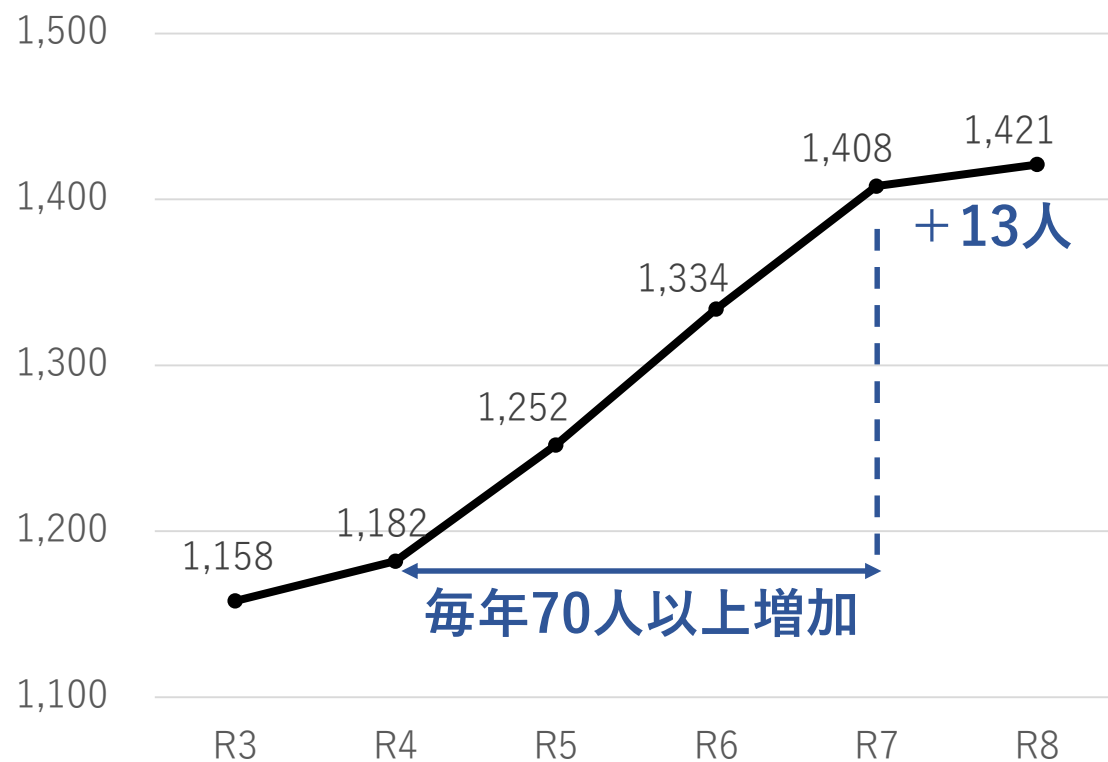
(7) いぶき明生支援学校分校設置 ※事業費1,982,850千円

- 校舎改修工事の設計等を実施
- 分校開校に向けた懇話会の設置・開催（6月・11月）
- 通学対象児童生徒の保護者向け説明会開催（3月）



4

市立特別支援学校の児童生徒数



特別支援学校における
人数の伸びが大幅に鈍化

R7 +74人 ▶ R8 +13人

知的 小中学部の増加人数

R7 +74人 R8 +7人

5

令和 8 年度の主な取り組み

(1) 特別支援教育相談センターの充実

○就学相談の更なる充実

- ・相談対応の拡充 ▶ **7 月末550組・年間650組**
- ・相談会場の新設 ▶ 灘区文化センター、須磨区役所
- ・就学相談後の状況把握・相談支援

○中学校の進学に向けた個別の相談

- ・相談対応の早期化による拡充 8 月開始 ▶ **6 月開始**

5

令和8年度の主な取り組み

(2) 自校通級指導教室の拡充

※予算額：37,731千円

学びの場の拡充

自校通級指導教室 **23校新設**
計100校設置



令和18年度までに必要な
全ての小中学校に設置

学びの質の向上

児童生徒の多角的なアセスメン
トや支援計画作成等をサポート
する**ICT教育ソフトを導入**



より効果的な自立活動支援

5

令和 8 年度の主な取り組み

(3) 市立高等学校における通級による指導

特別支援教育相談C
常駐の担当教員



必要な高校へ巡回指導



担当者を**拠点校**に配置
※摩耶兵庫、神戸工科、楠



他の高校へ**巡回指導**
※須磨翔風、科学技術、葺合、
六甲アイランド、神港橘

5

令和 8 年度の主な取り組み

(4) 幼稚園における通級による指導

拠点校通級指導教室
(14教室)

きこえとことばの教室
そだちとこころの教室

幼稚園通級指導教室の設置

モデル園（御影・長尾）で先行実施

他の幼稚園へ水平展開

5

令和 8 年度の主な取り組み

(5) 地域校への支援

※予算額：1,080千円

○特別支援教育課による学校訪問・伴走支援

特別支援学級の課題

- ・ 個別最適な学びの充実
- ・ 校内における特別支援教育の理解推進
- ・ 特別支援教育に関する人材育成

担当主事による学校訪問
+

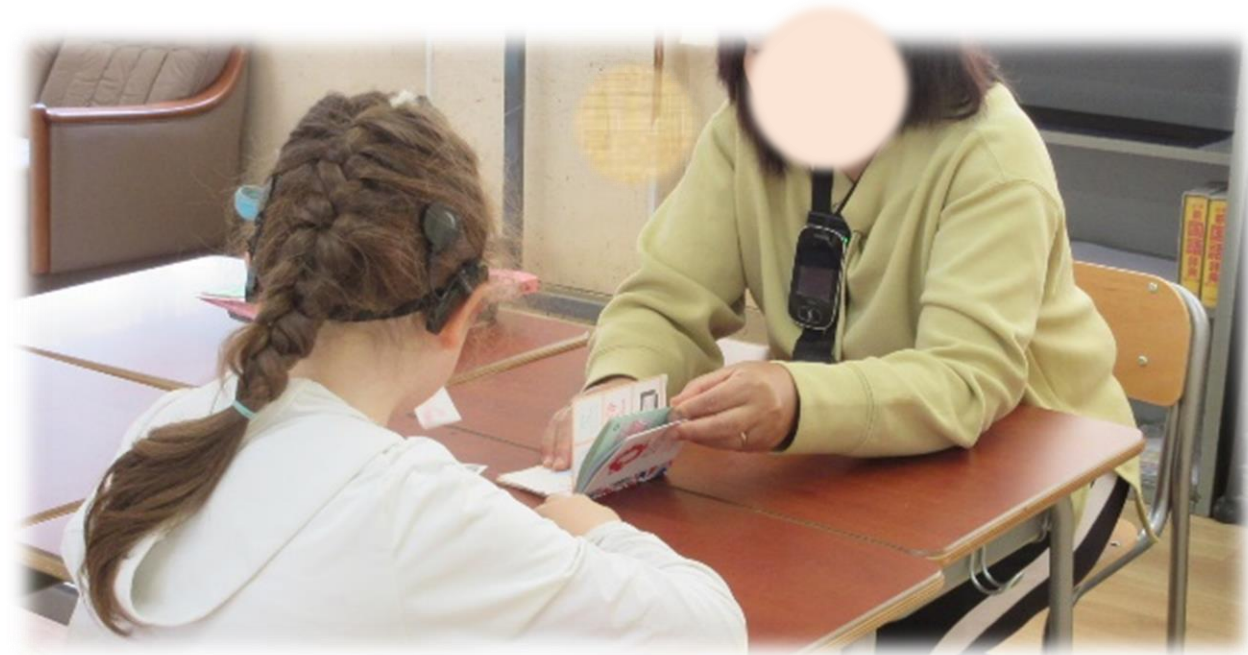
学識経験者を活用し、重点的に支援する小・中学校を伴走支援

5

令和 8 年度の主な取り組み

(6) 地域校における難聴学級の設置

○小学校 4 校において新設



5 令和 8 年度の主な取り組み

(7) いぶき明生支援学校分校設置

校舎の改修工事 ※ R 8 予算額：215,794千円

▶ スケジュール（予定）

年	令和7年度				令和8年度												令和9年度												令和10年度			
月	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
内容	実施設計				先行工事 工事期間：約6ヶ月												本体工事 工事期間：約12ヶ月												開校			
																													★現場完成			

6

人材育成

○ICT教育ソフトの導入

▶ 教員向け研修動画（約150本視聴可能）

○研修の充実

▶ 障害理解を深める基礎的な研修の拡充

▶ ICT教育ソフトの活用に関する研修

○その他

▶ 大学院等への派遣

▶ 校種を超えた人事異動

